

～安心と希望を届ける～

令和6年度札幌市予算編成に対する要望書を提出

新しい年を迎え、札幌市議会公明党10名は勢いよく始動いたしました。昨年12月、秋元札幌市長に対し2024年度札幌市予算編成に対する要望書を提出。「物価高騰等から経済の回復、新産業創出と社会基盤等の整備」「防災・減災・復興を社会の主流にしたまちづくり」「保健・医療・福祉施策の充実強化と自然・生活環境の向上」「地域及び一人ひとりの未来を輝かせる施策の充実とそれを支える環境の整備」「政策目標の実現に向け不断の行財政改革を推進」の5つの指標のもと、184項目にわたる要望。市長からは、いずれも喫緊の課題であり、今後の予算編成にあたり検討し取り組みたいとの回答がありました。本年も、政策実現に向けて、全力を尽くしてまいります!



物価高騰と経済再生に向けた緊急要望!

学校給食費の支援・生活支援のプレミアム商品券が新たに発行!

令和5年11月24日、長期に及ぶ物価高騰から市民の生活を守るため、札幌市議会公明党は秋元市長に対し緊急要望をしました。

これにより住民税非課税の約35万世帯を対象に1世帯当たり7万円の「物価高騰対応臨時給付金」を2月に給付、また全ての市民を対象に「札幌生活応援プレミアム商品券」を7月に発行します。さらに小中学校の給食費を値上げせずに栄養バランスや量などを保つための経費を令和6年度も継続します。



小さな声を聴く力で、

がん患者のウィッグ及び乳房補正具の購入費用助成制度について令和6年度からスタート!

札幌市は、がん治療に伴う脱毛や乳房の外科的手術など外見の変化に悩む人を支える「アピアランスケア」に関し、これまで購入費が高額とのご相談を受け議会でその声を届けてきた結果、令和6年度から購入費を助成する方針を決めました。助成対象は、医療用ウィッグ(かつら)と乳房の外科的手術による変形などをケアする下着や人工乳房等の補正具の購入費用です。

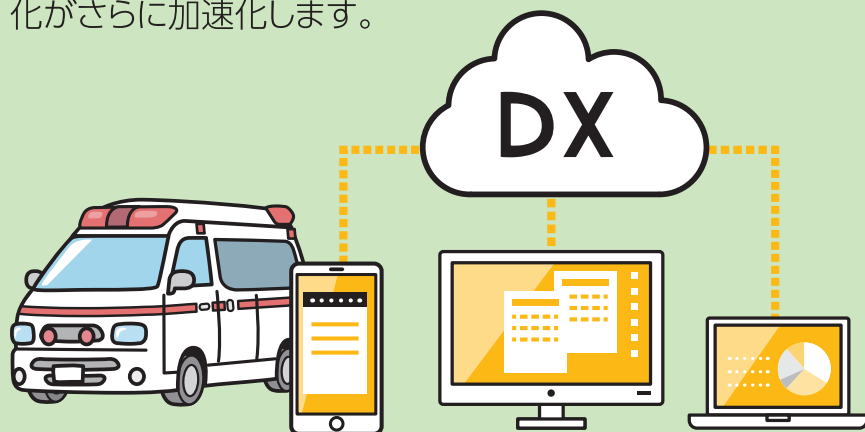


「アピアランスケア」 ってなに?

「がんやがん治療によって外見が変化しても、その人らしく社会生活を送れるよう、患者さんを支えるケア」のことです。外見が変わり元の生活ができないとか引きこもってしまう方が、安心して今まで通りの生活を送ることを目指します。

救急DX(デジタル化)が大きく前進!

令和6年2月より札幌市の「救急医療『見える化』システム」の運用が開始されます!救急隊のアプリと札幌市保健所の救急搬送支援システムの連携で、本市の救急業務効率化が進み、得られたデータの利活用により救急医療分野のDX化がさらに加速化します。



何かわるの?

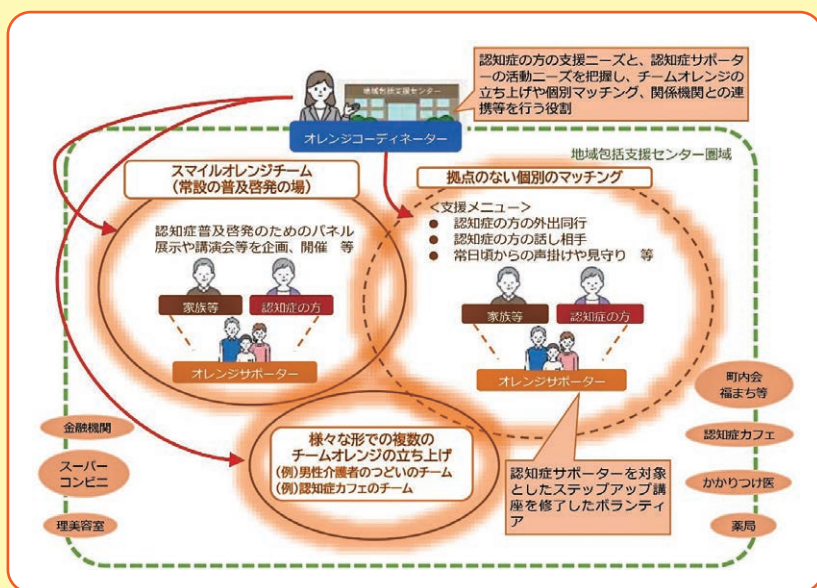
消防ではこれまで電話により医療機関が受け入れ可能かの確認を行い、容態などを知らせるのに紙媒体でのやり取りを行ってきました。こうしたことをデジタル化することで救急搬送時間の短縮と業務効率化がされ、適切な救急医療体制の確立が大きく前進し命を守る取り組みが進みます!

挑み続けた実績特集!!

認知症の方と家族への支援体制を整備する「チームオレンジ」がスタートします

チームオレンジは、地域包括支援センターに配置するオレンジコーディネーターが、認知症の方の悩みや家族の身近な生活の困りごとと、オレンジサポーター（別載）などの支援者をつなぐ仕組みです。

地域の様々な機関と、認知症の方や家族でチームを作り、支え合い助け合いの地域共生社会を目指します。新年度から5区（中央、東、白石、厚別、手稲）で始まります。



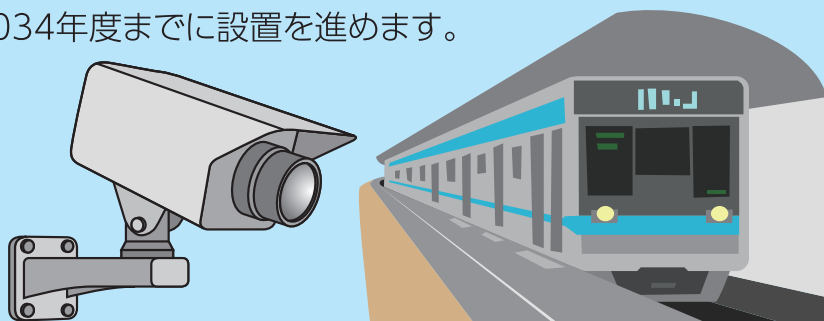
「オレンジサポーター」とは

認知症サポーターでさらに「ステップアップ講座」を修了したボランティアの方々です。コーディネーターのもと普及啓発活動や集いの場のお手伝い、さらに個別に訪問して外出支援、見守りや話相手などを行います。

利用者の安全・安心のため 地下鉄車内に防犯カメラが設置されます

札幌市交通局では、犯罪や迷惑行為、マナー違反を抑止するため地下鉄の全ての車両に防犯カメラを設置します。

具体的には「女性と子どもの安心車両」のない東豊線から設置し、2028年度までに東豊線・東西線の全ての車両に設置。南北線は老朽化した5000形の車両の更新に合わせ2034年度までに設置を進めます。



「車内防犯カメラ」の期待される効果は？

車内に防犯カメラを設置することで犯罪や迷惑行為、マナー違反の抑止につながるとともに、実際に犯罪が発生した際は犯罪者の特定や証拠として役に立ちます。

誰一人取り残さない施策を 全力で求めました!

●今後の暑さ対策について、冷房を学校だけではなく他の公共施設等への冷房設置に関する方針を取りまとめる。

●こどもホスピスづくり支援に向けた国との関わりについて、民間団体などと協議しながら課題を国に伝え制度的バックアップが得られるよう働きかける。

●生涯を通じた歯科口腔保健対策の推進について、若い世代を含め子供から高齢者に至る生涯を通じた歯科検診に取り組む。また、子供の虫歯が政令市中ワースト2位脱却のため、フッ化物洗口の普及に取り組む。

●災害に強いまちづくりについて、各種インフラの耐震改修に加え、胆振東部地震で得られた知見を生かし、大規模盛土造成地の強靱化に向け、災害に強い強靱な都市づくりを推進する。



待望の動物愛護の新施設

「札幌動物愛護管理センター (愛称:あいまるさっぽろ)」がオープン



～市有施設で初となるZEB ready認証取得施設～

札幌市の動物愛護の拠点施設となる札幌市動物愛護管理センター(あいまるさっぽろ)が2023年11月、市内中央区にオープンしました。

新たな施設は動物の管理・収容施設としての機能に加え、レントゲン室等の治療施設も充実、

市民の学習・交流のための多目的ホールも整備されました。

建物はふんだんに木材を使用し環境に配慮、地中熱の利用と太陽光発電を使用することで、従来から消費エネルギーを50%以上削減した市有施設初となるZEB ready(zebエネルギービル)認証取得施設となりました。

